

第1回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 議事概要

1 日時：平成28年7月4日(月) 13時30分～15時40分

2 会場：国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 1階会議室

3 出席者

(委員)

鳥取市長 深澤 義彦

鳥取県 危機管理局長 城平 守朗 (代理:危機対策・情報課長 山下 喜夫)

鳥取県 鳥取県土整備事務所長 山本 晃

気象庁 鳥取气象台長 真木 敏郎

国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所長 田宮 佳代子

(オブザーバー)

八頭町長 (代理:防災室長 中嶋 智紀)

(アドバイザー)

鳥取大学名誉教授 道上 正規

4 議題

- (1) 規約(案)の確認
- (2) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組について
- (3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有
- (4) 減災のための目標(案)について
- (5) 今後の進め方(案)

5 議事概要

(1) 規約（案）の確認

- ・規約（案）について確認し、了解を得た。

(2) 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組について

- ・取組内容について確認し、了解を得た。

(3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有

- ・国管理河川では氾濫危険水位等の位置づけ等の見直しが行われているが、鳥取市では地域の実情を踏まえて発令基準を1ランク厳しく対応している。タイムラインについてもこれらを反映して見直しすることはできないか？

→タイムラインについては策定後に「想定最大規模降雨による浸水想定区域図」が公表されたことを踏まえ、実運用や実際の行動等を考慮して見直せるものは見直していきたい。

- ・6月9日に公表した「想定最大規模降雨による浸水想定区域図」について説明会等を行っているのか？

→現時点では実施していないが、住民説明会などさまざまな場面を使いながら説明をしていきたい。なお、浸水想定区域図については、鳥取河川国道事務所ホームページのほか、千代川ニュースの記事として流域全戸に配布している。

(4) 減災のための目標（案）について

①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ適確な避難行動のための取組

- ・想定最大規模降雨による浸水想定に対して備えておくことは非常に大切であると思うが、実際には、どこに向かって、どういうふうに、いつのタイミングで避難を行えばよいのか判断が難しい。困難な取組みと思われるが、関係機関と連携して適切な避難行動をとるためにはどうすればよいか検討していきたい。

- ・避難勧告等を適切に行うためには、やはり情報をいかに迅速かつ適確に伝えて行くかが重要であるので、こうした取組にもしっかりと取り組んでいきたい。

- ・河川の情報等については、市長が避難のタイミング等を適切に判断できるよう、河川管理者は分かりやすいデータを届けないといけないし、市長の周りにも専門家をおいて判断出来るような仕組みにしないといけない。

②生命と財産を守る水防活動と日常生活を取り戻すための排水活動の強化

（意見なし）

③地域住民の防災意識向上のための防災教育の拡充

- ・小中学校や地域住民に対する防災教育だけではなく、河川管理に従事している者の説明能力の向上や、市町村長に対して助言を行うものの育成等にも取り組んでもらいたい。

- ・千代川は「因幡の国の暴れん坊」と呼ばれるほど水害の多い河川であったが、先人たちの努力もあって洪水被害が少なくなった。こういった地域の水害の歴史を勉強することも地域の水害リスクを知ることにつながると思う。

(5) 今後の進め方（案）

- ・この協議会は8月に取組方針を策定すれば終わりなのか。あるいは引き続き協議会を設置し、今後も連携を図りながら取り組んでいくことになるのか？

- 取組方針を策定した後は、これらのフォローアップとして毎年実施状況を確認していく必要がある。取組方針は今後5カ年を目処としていることから、少なくとも5年間は継続していくことになると考えている。

- ・取組方針の決定後も、訓練や災害対応等の結果を踏まえてきちんとフォローアップする必要がある。お互いが情報を共有し連携できればうまくいくのではないかと。

以上をふまえて、協議会構成員で協力して取組方針の策定を行うことを確認した。